

世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイ

地方空港No. 1の国際線ネットワーク

交流人口の拡大による“**創造的復興**”への貢献

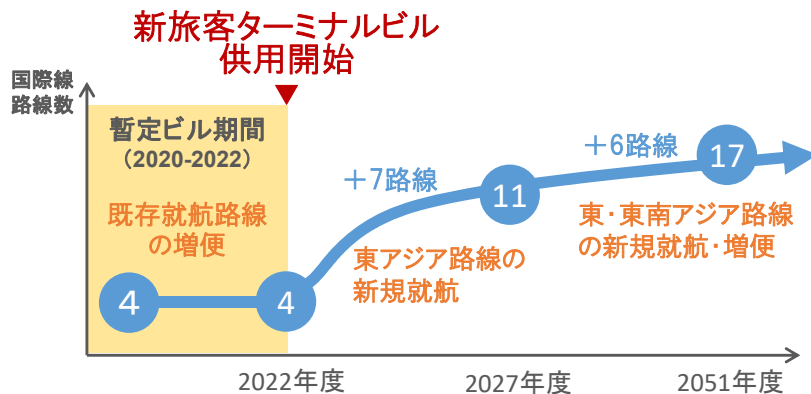


2051年度目標値

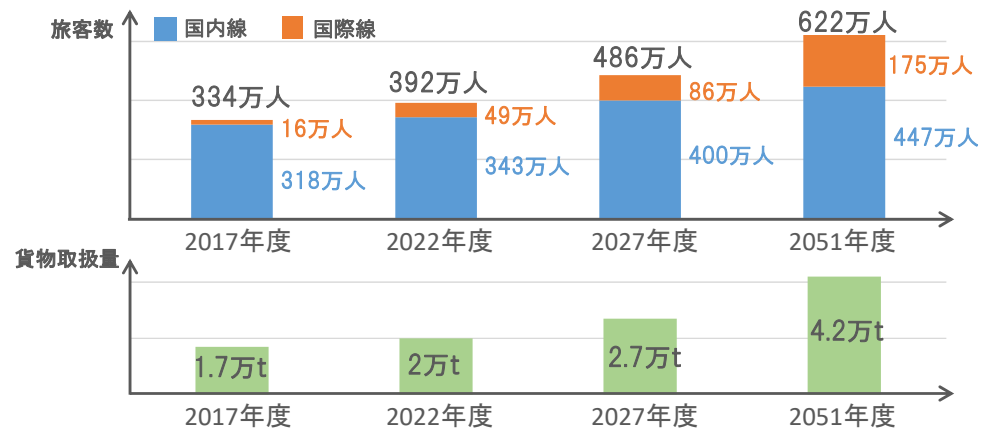
- ◆ 国際線**17**路線
- ◆ 旅客数**622**万人
(うち国際線**175**万人)
- ◆ SKYTRAX **5**スターを取得

(注)地方空港には、東京国際空港(羽田)、成田国際空港、関西国際空港、福岡空港、新千歳空港、那覇空港、大阪国際空港(伊丹)、中部国際空港は含まない

国際線の就航路線数



旅客数・貨物取扱量の目標値



創造的復興のシンボル

国内線・国際線一体型の新旅客ターミナルビル

(2023年供用開始予定)



内際一体型の
新旅客ターミナルビル

スポットの再編・増設

地域にひらかれた
商業エリア

地域にひらかれた
にぎわい広場

二次交通機能の
強化

制限エリア内
店舗面積

54㎡ → 2,500㎡

免税店舗
面積

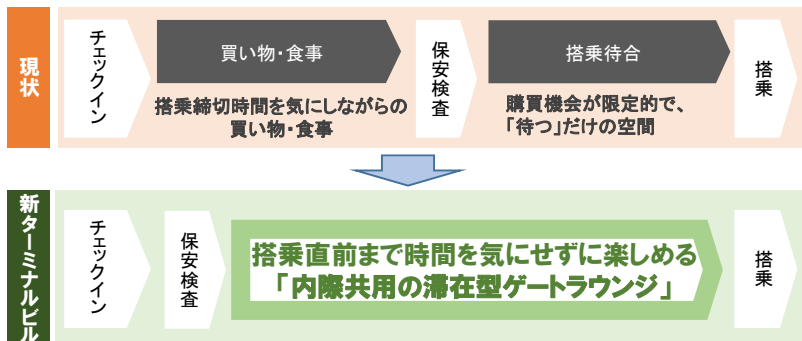
現状の約10倍

ピーク時
最大待ち時間

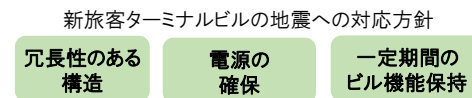
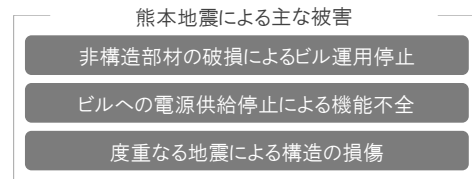
30分 → 10分以内

国内初の滞在型ゲートラウンジ

- ◆ 搭乗直前まで締切時間を気にせず、快適な時間が過ごせる「滞在型ゲートラウンジ」を整備
- ◆ 国際線旅客も利用可能な「内際共用のゲートラウンジ」として整備



災害時にも安全・安心を提供する強靱なターミナルビル



・空港利用者の安全・安心
・被災時の空港機能の確保

- ◆ 災害時においても全ての空港利用者が安全かつ安心して滞在できる機能を提供
- ◆ 繰り返し発生する大地震にも耐える構造を備えるとともに、電源・通信・上下水道等、各種ライフラインを確保

国内線・国際線共用の滞在型ゲートラウンジ

- ◆搭乗直前まで楽しく快適な時間が過ごせるよう、ゲートラウンジ内の店舗面積を大幅に拡張し、多様で魅力的な店舗を誘致

滞在型ゲートラウンジ



最先端機器を導入したチェックインロビー

- ◆出発エリアには自動チェックイン機器、その他スマートレーンやCT型X線検査装置等の最先端機器を導入し、ファストトラベルを推進

出発エリア



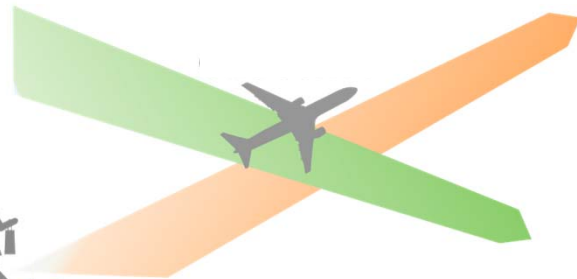
「食と旅」をテーマとした商業ゾーン

- ◆世界中から熊本を訪れた人々と地域の人々が交流する、すべての人々にひらかれた商業エリア

世界の人々



地域の人々



商業ゾーン



地域にひらかれた商業エリア

にぎわい広場



各種イベントが開催可能な広場

到着ロビー

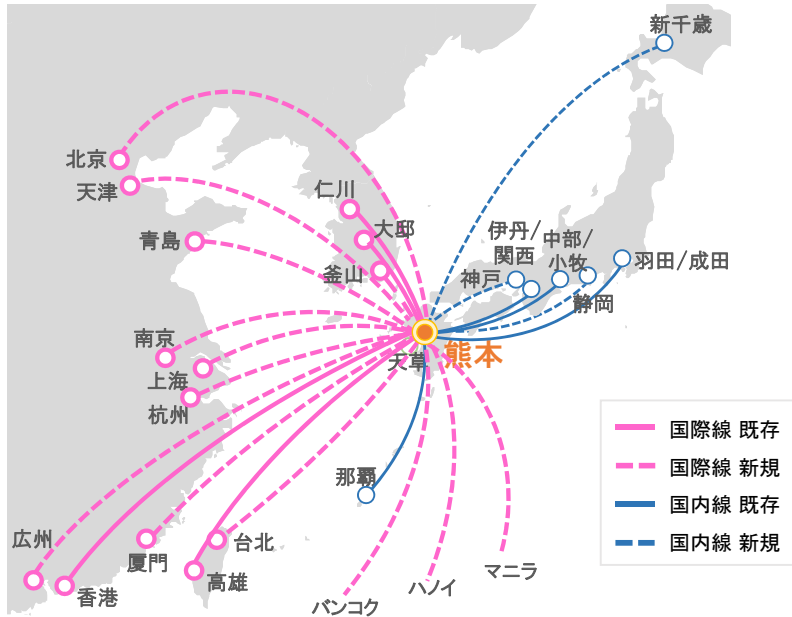


観光客を迎え入れる到着ロビー

東アジア路線の戦略的誘致

- ◆エアライン誘致専任部署の設立
- ◆エアラインの意思決定プロセスを踏まえた誘致手法の導入
- ◆競争優位なインセンティブの提供
- ◆小型機が就航しやすい受入れ環境整備

将来の航空ネットワーク(案)



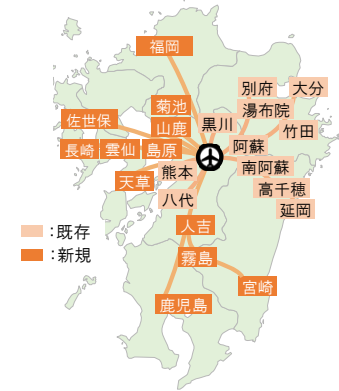
地域との連携強化

- ◆強固な官民連携によるエアポートセールス・エリアセールス
- ◆周辺地域・自治体等との連携による「顔の見える関係」の構築
- ◆新たな環境対策への取組みと助成事業による地域への更なる還元
- ◆地域の魅力の効果的な情報発信および的確な情報分析によるプロモーション強化
- ◆「空の仕事」を担う人材の輩出拠点としての地域発展への貢献

二次交通の拡大・拡充

- ◆市内交通拠点との接続強化
- ◆観光地等へのバス路線拡大 (現状：11路線→将来：23路線)
- ◆訪日FIT旅客受け入れのための二次交通モードの多様化

将来のバスネットワーク(案)



万全の事業実施体制の構築

- ◆トラブル発生時における社長をトップとする早期復旧体制の構築
- ◆国の安全・保安業務を確実に承継できる体制構築
- ◆複層的モニタリングと構成員の支援・指導による実効性の高いモニタリング体制

新旅客ターミナルビル供用開始までの施策

新旅客ターミナルビルの完成までの期間も、利用者の利便性の維持向上に向けた取り組みを実施

- ◆商業機能や待合機能を補完するサテライトビルの整備
- ◆免税店舗や待合機能の強化 (国際線ターミナルビル)
- ◆立体駐車場の整備